

6 林 業

項 目	作 業 内 容
<p>乾シイタケ栽培 について</p> <p>(1) 今春植菌ほ だ木の本伏せ</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今春植菌のホダ木の本伏せ ○ホダ木の管理 <p>5月は気温が上昇し、樹皮部の急激な乾燥によりニマイガワキン、クロコブタケなどの害菌の繁殖が旺盛になる。このため、今春植菌し、仮伏せ中のホダ木の種菌の頭部に菌糸が白く発菌した状態あるいはホダ木の木口に菌糸紋が確認できれば速やかに本伏せを行う。本伏せには、林内伏せと裸地伏せがある。</p> <p>ア 伏込み場の選定</p> <p>一度伏せ込むと移動に手間がかかるため、直射日光が当たらない、風通し・水はけが良い、湿度が低いなどの条件を満たす伏込み場を慎重に選定する。</p> <p>イ ホダ木の組み方</p> <p>鳥居、よろい、百足、井桁、合掌などの組み方があり、どのホダ木にも雨が当たり、風が通るように組む。組み方や組む高さは、伏込み地の乾燥状態、ホダ木の直径の大小、ホダ木の水分状態などを考慮して決める。例えば、大径木のホダ木や水分の多いホダ木であれば、鳥居か百足にして高く組み、風通しを良くしてホダ木の水分低下促進を図る（次ページ表、次ページ写真）。</p> <p>ウ 林内伏せ</p> <p>スギ林、ヒノキ林、常緑広葉樹林などの林内へ伏せ込む場合は、雨がよく当たり、冬場に温度が確保できる明るい林を選ぶ。谷間のスギ林へ伏せ込むときは、間伐や枝打ちを行い、明るく、風通しを良くする。落葉樹林へ伏せ込む場合は、初冬から5月上旬まで葉がないため、この間は笠木や遮光ネットなどでホダ木を覆い、直射日光が当たらないようにする。組み方は、よろいを基本とし、条件により、鳥居や百足、井桁などとする。</p> <p>エ 裸地伏せ</p> <p>原木の伐採跡地などに伏せ込む際は、ホダ木に直射日光が当たらないよう、ホダ木の上に伐採した原木の枝葉を笠木として被せる。笠木は、上から見てホダ木が見えないよう厚さ30 cm程度に敷き詰め、伏せ込みの高さだけ両脇に張り出す。特に、西日がホダ木に当たらないよう注意する。組み方は、よろい又は鳥居とする。</p>

項 目	作 業 内 容																																				
<p>(2)ほだ場の管理</p>	<p>表 伏込み場と組み方</p> <table border="1" data-bbox="507 246 1441 689"> <thead> <tr> <th data-bbox="507 246 826 302">伏込み場</th> <th colspan="3" data-bbox="826 246 1441 302">組み方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="507 302 826 347">裸地</td> <td data-bbox="826 302 1034 347">鳥居伏せ、</td> <td colspan="2" data-bbox="1034 302 1441 347">よろい伏せ、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 347 826 392">マツ・落葉樹の混交林</td> <td data-bbox="826 347 1034 392">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 347 1241 392">百足伏せ、</td> <td data-bbox="1241 347 1441 392">鳥居伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 392 826 436">落葉樹林</td> <td data-bbox="826 392 1034 436">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 392 1241 436">百足伏せ、</td> <td data-bbox="1241 392 1441 436">鳥居伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 436 826 481">常緑広葉樹林</td> <td data-bbox="826 436 1034 481">よろい伏せ、</td> <td colspan="2" data-bbox="1034 436 1441 481">百足伏せ、</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 481 826 526">ヒノキ林</td> <td data-bbox="826 481 1034 526">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 481 1241 526">井桁伏せ、</td> <td data-bbox="1241 481 1441 526">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 526 826 571">スギ林</td> <td data-bbox="826 526 1034 571">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 526 1241 571">井桁伏せ、</td> <td data-bbox="1241 526 1441 571">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 571 826 616">竹林</td> <td data-bbox="826 571 1034 616">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 571 1241 616">井桁伏せ、</td> <td data-bbox="1241 571 1441 616">三角伏せ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 616 826 660">人工庇陰</td> <td data-bbox="826 616 1034 660">よろい伏せ、</td> <td data-bbox="1034 616 1241 660">井桁伏せ、</td> <td data-bbox="1241 616 1441 660">三角伏せ</td> </tr> </tbody> </table>	伏込み場	組み方			裸地	鳥居伏せ、	よろい伏せ、		マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ、	百足伏せ、	鳥居伏せ	落葉樹林	よろい伏せ、	百足伏せ、	鳥居伏せ	常緑広葉樹林	よろい伏せ、	百足伏せ、		ヒノキ林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ	スギ林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ	竹林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ	人工庇陰	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ
	伏込み場	組み方																																			
裸地	鳥居伏せ、	よろい伏せ、																																			
マツ・落葉樹の混交林	よろい伏せ、	百足伏せ、	鳥居伏せ																																		
落葉樹林	よろい伏せ、	百足伏せ、	鳥居伏せ																																		
常緑広葉樹林	よろい伏せ、	百足伏せ、																																			
ヒノキ林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ																																		
スギ林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ																																		
竹林	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ																																		
人工庇陰	よろい伏せ、	井桁伏せ、	三角伏せ																																		
<p>オ 散水</p> <p>散水施設のある伏込み場では、降雨がなければ、週2回（1回当たり2時間）程度、ホダ木の裏側までしっとり濡れるくらいの散水を行い、菌糸の伸展・まん延を促進する。</p> <p>収穫が終了したホダ場では、ホダ木の回復を図るため、防風ネットを取り外して風通しを良くし、ホダ木を休養させる。</p> <p>また、春先と5月では林内の被陰の位置が変化しているため、ホダ場内の被陰状態を調べ、ホダ木に直射日光が当たらないようにする。</p>																																					
																																					
<p>写真 ホダ木の組み方</p> <p>(左上) よろい伏せ (中上) 井桁伏せ (右上) 鳥居伏せ (左下) 三角伏せ (中下) 百足伏せ</p>																																					

(作成 林業研究センター)